# ぱらボラ

4月号
(通算第10号)
97.3.25

発行：東灘・地域助け合いネットワーク
〒658　神戸市東灘区住吉東町2-3-28　東灘区役所中庭事務所
TEL 078-843-4029　FAX 078-842-2907
e-mail　tasukeai@mxb.meshnet.or.jp
http : //www1.meshnet.or.jp/~tasukeai/




この楽しそうな表情にご注目!!　詳しくは本文をどうぞ。

## 昼食ボランティア緊急募集

当ネットワークの事務所でボランティアの昼食を作ってくださる方を求めています。約30人分を3人位で作ります。ボランティアから帰ってみんなで食べる昼食は、活力の源。ボランティアを支えるボランティアさんです。

現在、特に火曜日・金曜日の方が足りません。
月1回でも大歓迎　9時半～午後1時半

# かおる春　ひかる街

## 大盛況のふれあいアンサンブルと車イス・高齢者ファッションショー

**高齢者の生きがいづくりの一つで始めたふれあいサロンの日頃の成果の発表会が三月二〇日に生活文化センターで行われた。当日は参加者約一四〇名に対して、百人以上のボランティアが動いた。午後1時30分の開演に間に合うように、ボランティアは曇り空の中午前9時30分から準備に追われた。次第に集まってきた参加者の笑顔が雲を吹き飛ばすかのように、昼頃にはすっかり晴れあがった。前日までの不安も消え、大盛況に終わった。**

午後1時30分、CS神戸主催のファッションショーが始まる。

服はすべて「ミシン工房・春」のメンバーの手作り。車椅子に乗る人や高齢者のために脱ぎ着のしやすいようにこまやかな工夫がされている。コサック風の服やレインコートなどバラエティも豊富。そして二人のウェディングドレスの花嫁さんが登場。手渡された花束を笑顔で受け取る姿をみて、本当に結婚式のような気分になった。



午後1時20分からは当ネットワーク主催のアンサンブル。安元氏の指揮にあわせてベルや鈴を鳴らし、歌う。出演者の視線は安元氏の手に釘付けだ。笑顔一杯の人もいれば緊張ぎみの人もいる。

深江南地区のBさんは、「カラオケは嫌いだけど歌は好き。声を張り上げて歌う機会なんてなかなかないから気持ちがいい。」と喜んでいた。



手水仮設の方々は衣装を白のブラウス、シャツと黒のスカート、ズボンに統一。練習は週一回。ボランティアが今朝迎えに行ったときも練習をしていたほどで、チームワークはバッチリだ。

順調に発表が進む。観客席で一緒に口ずさむ人も多くなごやかに時間が過ぎていく。最後は本山中地区。一曲目は楽器だけの演奏だ。指揮と合わせるのに少し時間がかかったが、始まったら後はきれいにそろっていた。

すべての発表が終わった後、90歳の方がいらっしゃったと司会者の山田さんよりあらためて紹介があった。そのときすかさず会場から手が上がった。なんと92歳とのこと。会場から拍手が巻き起こる。その積極性こそが若さの秘訣かな?

くじ引きでプレゼントが配られ、全員で「青い山脈」の大合唱でフィナーレを迎える。グループごとに記念撮影をしたり、宴の余韻は続く。

# 研修に積極的なご参加を！

**A研修**では、ネットワークの活動をビデオで紹介し、活動分野の輪郭が理解できるように。

**B研修**では、車椅子の介助や視覚障害者の為の誘導の仕方など実地に役立つように。

**C研修**は、リフレッシュ研修と位置付けられ日常の活動の課題、疑問、問題点などを話あったり、講師の助言をもらうなど。ボランティアがやりがいを感じ、ネットワークが活性化する助けになるよう企画されます。

その他、番外編として、時々のトピックスなどを取り上げる特別研修が開かれています。

一応、予定ですので、参加希望の方は、まずご連絡を。843-4029まで（担当：小林、芝崎）

**4月1日A研修**
**4月4日C研修**
**4月17日特別研修（特養見学）**
**5月15日A研修**
**5月26日B研修**

# トントン拍子で決まったはずが…… 発表までの舞台裏

**平成7年11月**
ふれあいサロン発足後、プログラムの一つに歌の練習があった。

**平成8年6月**
安元氏が歌に打楽器を盛り込みたいと提案された。

**平成8年10月**
打楽器の練習成果を各医院で発表しては、との案が即決。
日時場所を3月20日生活文化センターに決定した。10月1日に設立したばかりのCS神戸も加わることになった。ミシン工房「春」が高齢者・障害者ファッションショーを計画。ところが会場を押さえホッとする間もなく、次々とハプニングが起こってきた。

実際に安元氏の指導でやってみたら「分からない、難しい、テンポが早い」と参加者から不安の声が上がった。さて会場の方も車椅子を舞台に上げる設備がない。これではショーができない。

**平成8年11月**
不安がる来場者をとにかく励ますのみ！　安元氏にはゆっくりと演奏を頼む。車椅子はリフトを使用することで一件落着。

**平成8年12月**
川島医師を通して民生委員に送迎を依頼したところストップがかかった。ここで交通手段が大きな検討課題となった。一方、試作品作りに取り組みだしたCSでは車椅子のウエディングドレスなんて初めて！ドレスの裾がタイヤに巻き込まれて、もうたいへんだった。

**平成9年1月**
出演者の確認。移送を徹底させるため車を五台確保。参加者全員が傷害保険に加入する。一方CSはモデル募集をした後、寸法あわせにフーフー。

**平成9年2月**
出演者の再確認。後援、協力の依頼。移送名簿完成。CSはウエディングドレスの小花づくり400個にスタッフはぐったり。

**平成9年3月**
最終見直し、再々確認。最後の最後まで参加者が定まらずサロンのスタッフも大慌て。CSは最後の追い込み。なんとしても仕上げねば。
……で当日をむかえた。

# どんな人・こんな人



きしもとよしお
## 岸本禎夫さん 68才

震災の日、四十年間やってきた東灘区内の縫製工場を兼ねた自宅と、西宮に住んでいた息子さんを失った。それから約一年近く奥さんと共に「茫然自失、何もする気が起こらなかった」という。体調を崩し寝たり起きたりの生活であった。

震災からほぼ一年経ったある日、以前取引していた会社の社長さんが息子さんのお悔やみに訪れ「また仕事をしてみないか」という話があった。「自分もまんざら捨てたものじゃないな」という気持ちと共に「徐々に気力が沸いてきた」。その後同じ仮設住宅に住む人の相談に乗ったりするようになり、仮設の自治会の役員に推され調整役として力を発揮し始めた。CS神戸の発足後、当ネットワークのボランティアの勧めで縫製の腕を生かしミシン工房「春」に活動の場を得た。大切なものを失い生きる気力をも失いかけたけれど、自分の活躍する場を得、いろいろな人と接していくことで明るさを取り戻した。はさみをもち布に向かっている姿は生き生きと、とても力強かった。

# １９９７年４月

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1<br>ふれあいサロン<br>西崎眼科<br>A研修<br>市民・連合VNW代表者会議 | 2 | 3<br>ふれあいサロン<br>月例ミーティング | 4<br>C研修 | 5<br>全連愛知組合員ボランティア研修 | 6  |
| 7<br>ネットワーク月例リーダー会 | 8<br>ふれあいサロン<br>河原医院 | 9<br>茶話やかタイム<br>手水仮設<br>ふれあいサロン<br>勝盛眼科 | 10<br>ふれあいサロン<br>川島クリニック<br>神戸市内観光バスツアー（手水公園仮設） | 11<br>第23回東灘区ボランティア連絡会 | 12 | 13  |
| 14<br>ふれあいサロン<br>浜中内科医院 | 15<br>茶話やかタイム<br>御影仮設 | 16<br>茶話やかタイム<br>川井仮設 | 17<br>特別研修：特養見学<br>ふれあいサロン<br>神尾小児科 | 18<br>第62回東灘区地域ケアネットワーク会議<br>第36回常任幹事会 | 19<br>茶話やかテント<br>魚崎仮設<br>（サントリー労組、全電通参加） | 20  |
| 21<br>ふれあいサロン<br>能登医院 | 22<br>茶話やかタイム<br>手水仮設<br>ふれあいサロン<br>藤田外科 | 23<br>ふれあいサロン<br>有光医院 | 24<br>ふれあいサロン<br>宮地クリニック<br>知恩院へバス旅行（六甲アイランド仮設） | 25<br>ふれあいサロン<br>高瀬内科 | 26 | 27  |
| 28 | 29  | 30 | | | | |


東灘・地域助け合いネットワーク

TEL 078-843-4029

東灘・地域助け合いネットワークは多くのボランティアによって活動を続けていますが、団体として参加している中に「全労済」があります。震災前からヘルパー三級の講習を実施していた「全労済近畿地方本部」は、その方たちを介護ボランティアとして派遣する取組みを、95年8月より始めました。この3月末で終了しますが、当ネットワークへは、40名が参加、1年半にのべ二三〇〇名が活動したことになります。

震災の年は、公民のヘルパー派遣団体も活動できず、当ネットワークのボランティアが家事援助（掃除、洗濯、調理など）やシャワー介助などもしていましたので、この「全労済」介護ボランティア参加は、本当に助かりました。その後も、仮設・在宅高齢者の生活支援のみならず、ふれあいサロンやボランティアの昼食作りなど、様々な活動に積極的に参加していただきました。

終了にあたって、皆さんに「当ネットワークの活動に参加して嬉しかったこと、悲しかったこと」をお聞きしました。その中から一部を紹介し、参加された皆さんのお名前を掲載いたします。本当に長い間、ありがとうございました。

## 全労済のみなさん、ありがとうございました

・週一度の訪問を待っていて下さったこと。また帰りに「また来てくださいね」の笑顔は、私の喜びでした。

・はじめは未経験の気負いもあって、大変でした。そのうち、自然体で接することができ、とても良い出会いをさせていただきました。

・「便利屋」のように扱われて、クタクタになるまで働いたときは、ちょっぴり悲しかったです。

・心を閉ざしていた方が、回を重ねる毎に、楽しいこと、悩んでいることを話してくれるようになったことが、嬉しかった。

・仮設巡回で震災時とその後の過ごし方など、お話を聞くのはつらいものがあった。

・事務所に戻って食べる、おいしくて経済的な昼食は主婦として参考になった。

**京都府から**

中村あや子さん　田島文子さん
大桐暎子さん　田井こはるさん　茶谷優香里さん　川村素子さん　中村順子さん　永井歌代さん　古田恵美子さん　小川幸恵さん　東久恵さん　林知子さん　西嶋幸枝さん　京田美子さん

**奈良県から**

川村照子さん　黒田ゆかりさん　富田純子さん　正木正子さん　泉礼子さん　広本悦子さん　三好いづみさん　坪田圭司さん　蓮池幸穂さん　酒谷道子さん　松井千代子さん

**大阪府から**

中田洋子さん　椚田正雄さん　橋岡真子さん　青山昭子さん　梁川暢子さん　上村真由美さん　深井育子さん　井田恵子さん　山本千代子さん　岩永當子さん

**兵庫県から**

宮根孝子さん　藤丸美幸さん　月本由紀子さん

**和歌山県から**

渡辺洋子さん　古家稔子さん

| | サービス内容 | 12月 | 1月 | 2月 |
|---|---|---|---|---|
| 家事 | 買い物代行など | 23 | 22 | 24 |
| 介護 | 介護一般・話し相手・様子伺い等 | 113 | 156 | 272 |
| 移送 | 車による通院・外出介助等 | 34 | 28 | 33 |
| | 車による引越・荷物運搬等 | 27 | 11 | 10 |
| その他 | 室内の荷物運び・移動・修理等 | 28 | 6 | 14 |
| ふれあいセンター | | 16 | 2 | 6 |
| 茶話やかタイム | | 3 | 5 | 4 |
| ふれあいサロン | | 10 | 11 | 13 |
| 心のふれあいの集い・心のオアシス | | 1 | 1 | 1 |
| その他のイベント | | 1 | 0 | 0 |
| サービス件数 | | 256 | 242 | 377 |
| 一日平均サービス件数 | | 10 | 11 | 16 |
| 参加ボランティア総数 | | 511 | 471 | 542 |
| 一日平均ボランティア数 | | 20 | 19 | 23 |
| 登録ボランティア数（累積） | | 1367 | 1,377 | 1,403 |

## 復興公営住宅応募の方々の為の周辺マップ作り

三月初旬に復興公営住宅の募集が行われました。NWとCSは東灘区内の八つの住宅について、二月に、周辺マップと周辺案内作りを行いました。これは、応募に当たって、市外や県外にいるなどで、時間や距離の制約があり、住宅の条件や周囲の環境などを自分の目で確かめられない人たちのために情報を提供する目的で企画されました。

震災・活動記録室という団体が企画し、NWとCSはここから委嘱を受けました。

調査のポイントを

①交通機関（運行頻度、終電終バス、都心までの所要時間、交通費など）
②近くの病院や学校、店などの場所と備考
③防災施設
④住宅周辺の環境（日当りや騒音、坂道など）
⑤車イス生活者への便利

の各点におき特に2については、たとえば生鮮食料品の安い店などと、地元のボランティアの強味を生かした調査が出来ました。

昨夏の募集の際にも、応募の手引きを作成して情報提供した震災・活動記録室によりますと、応募する人たちの中には、単純に情報がほしいというよりは、自分の不安を誰かに聞いてほしい方、気軽で温かみのある情報提供を求める方が多いということです。

そして、落ち着ける住まいを待ち望んでいる方々の不安を和らげるには、その人たちが本当に必要としている情報や不安感などをじっくり聞き、その上でていねいな情報提供を心がけることが大切だと思う、と言っています。

対象とした住宅は、本山第四、本山南第二、六甲アイランド第三、御影石第二、本庄第二、新住吉川、ルネシティ深江本町、ルネシティ住吉本町の八カ所です。活動には一六人が参加しました。この「周辺マップ&案内」は当ネットワークにあります。必要な方はご連絡ください。

### 今月の新規ボランティアは17人でした

中原太郎さん　内宮恭子さん
藤野由樹さん　島貫幸子さん
釜田洋一さん　新関準さん
小島八郎さん　石田光子さん
猪狩育子さん　高橋佐和子さん
樋口節治さん　武田佳寿世さん
椋尾繁さん　堤元比呂さん
石丸聡さん　北条正行さん
山下兼哉さん

ボランティア募集中
078-843-4029
担当　原俊子

### 編集後記

●この菜種梅雨を過ぎれば春はもうすぐそこ。桜も開花の準備中。どんどん外に繰り出しましょう。（住本有希子）
●とかく酒量の増える季節ですが、みなさん身体には気をつけましょう。（竹内克仁）
●私にとってボランティアは、日常の中の非日常。刺激がいっぱいです。（上村光代）
●年度末で忙しさも倍増。帰宅途中沈丁花の香りに、一瞬我を忘れてトリップしてる。（原俊子）
●桜・高校野球・春！　明るい記事が多くなるように…（阿部隆）
●3月20日を無事に終えホッと一息！（村山メイ子）
●ネットワークがより身近に感じられるような紙面作りを目指していますが…難しい（小林允子）

### 活動維持のためにご協力ください

**銀行振込**

さくら銀行　甲南支店
普通口座　3994604
口座名義　東灘・地域助け合いネットワーク　中村順子

**郵便振替口座**

01140-9-88648
名称　東灘・地域助け合いネットワーク

### ご支援ありがとうございました

97.1.8～3.20にご寄付、物品をいただいた方たちです

小林甫、山中誠一、武田純子、柿本豊子、坂本博子、徳増猛、斧田綱子、菊地スマ子、佐野章二、岡澤喜志子、谷川浩司、下野まり子、神戸YMCA市民クリスマス委員会、目黒マサ子、ヨシダテツコ、加藤由実、多紀郡社会福祉連合会

（敬称略）